



東アジア
文化都市

2015新潟市

Culture City of East Asia
2015.NIIGATA

東アジア文化都市 2015 新潟市
事業報告書

新潟から、文化でつながろう。



東アジア文化都市 2015 新潟市
事業報告書

目次

4	新潟市長挨拶
5	文化庁長官挨拶
7	開催概要
8	東アジア文化都市とは
9	推進体制
10	選定経過とビジョン
12	中国、韓国総領事館の支援
14	「東アジア文化都市 2015 新潟市」事業概要
15	主要実績
16	青島市の紹介
17	清州市の紹介
18	2015 年東アジア文化都市 共同宣言
19	オープニング期間
27	国際大会・フェスティバル
33	水と土の芸術祭 2015
39	こどもの交流
49	3都市相互の文化交流
55	新潟市独自の文化を生かした交流
61	その他の文化芸術イベント
73	その他の文化交流
81	クロージング
87	関連事業
95	フレンドシップ事業
99	広報活動
109	外国人誘客促進
113	資料編



「東アジア文化都市 2015 新潟市」ロゴマーク

東アジア3か国の文化のエネルギーが勢いよく交差することで、さらに飛躍するアジア文化のパワーを表現。筆で描くことにより温かさと調和、伝統を表します。

青色は「水」、黄金色は「大地の恵み」、朱色は「食文化」をそれぞれ表し、全体の形はアジアのAを象徴しています。

新潟市長挨拶

2015年の1年間、本市は東アジア文化都市の日本代表都市として、中国・青島市、韓国・清州市と手を取り合い、積極的かつ集中的に文化交流を行ってきました。相互派遣したアーティストらの数が400人を上回る大変密度の濃い交流により、それぞれの市民が隣国の文化への関心を高め、共通点と独自の魅力を知り合うことができ、3か国・3都市の相互理解の深化に大きく寄与したものと思います。



事業実施にあたっては、文化庁から多大なご支援をいただいたほか、本市に置かれている中国、韓国の総領事館からも全面的にご協力いただき、大きな成果を収めることができました。この場をお借りして御礼申し上げます。

本市で開催した文化イベントには、主要25事業で123万人もの来場者を集め、たいへんな盛り上がりとなり、多くの市民が中国、韓国の文化を楽しみながら、新潟市の文化の魅力を見つめ直す機会ともなりました。また、市民企画によるフレンドシップ事業は150事業を数え、本市から青島市、清州市に派遣する団は「オール新潟市」で構成するなど、本市の「市民力」が大いに発揮された1年となりました。

この経験を基盤とし、青島市、清州市との交流を重ねながら、2020年の東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた文化プログラムなど文化創造の取り組みをいっそう推し進め、文化を基軸とした東アジアの交流拠点を目指します。

新潟市長 篠田 昭

文化庁長官挨拶

「東アジア文化都市 2015 新潟市」事業が、昨年の横浜市に続き大きな成功を収め終了しましたことを心よりお慶び申し上げます。

東アジア文化都市は、日中韓文化大臣会合での合意に基づき 2014 年から新たに開始された日中韓 3 か国の共同事業です。新潟市は、中国・青島市、韓国・清州市とともに、東アジア文化都市として 1 年間にわたり、水と土、食、伝統芸能等の多種多様な文化を生かして、舞台芸術の公演、展覧会、青少年交流事業等、多くの文化芸術イベントを開催してきました。これらを通じ、3 か国の芸術家、市民など様々な人々の間で活発な交流が行われ、日中韓における相互理解の一層の進展に大きな成果を残しました。本事業に対する関係者の皆様の長期間にわたる御尽力に敬意を表します。

2015 年 12 月に青島市で開催した「第 7 回日中韓文化大臣会合」において、日中韓 3 か国は、東アジア文化都市が日中韓の文化交流推進の重要なプラットフォームであることを確認するとともに、奈良市、寧波市、済州特別自治道を 2016 年の東アジア文化都市として選定いたしました。本年の成果が、環日本海のゲートウェイにある「文化創造都市にいがた」が東アジアの文化交流拠点としてより発展していくとともに、後に続く東アジア文化都市へと継承され、各都市がより一層発展していくことを祈念いたします。



文化庁長官 青柳 正規

開催概要

東アジア文化都市とは

「東アジア文化都市」は、日中韓文化大臣会合での合意に基づき 2014 年から始まった事業で、日本・中国・韓国の 3 国で文化芸術による発展を目指す都市をそれぞれ選定し、その都市においてさまざまな文化芸術イベントを実施することなどにより、相互理解を深め、多様な文化の国際発信力を高めようとするものです。同時に、選定都市がその文化的特徴を生かして、文化芸術・クリエイティブ産業・観光の振興を図り、事業実施を契機として継続的に発展することも目的としています。

新潟市は、2014 年 11 月 30 日に横浜市で行われた「第 6 回 日中韓文化大臣会合」において、中国・青島市、韓国・清州市とともに 2015 年の東アジア文化都市に正式決定しました。

新潟市は、2014 年の横浜市に続き、国内で 2 番目の東アジア文化都市開催地となりました。



左：篠田昭新潟市長 右：下村博文文部科学大臣



3 国国の文化大臣と 3 都市の代表者

推進体制

「東アジア文化都市 2015 新潟市」実行委員会

「東アジア文化都市 2015 新潟市」の事業推進にあたり、市民力・地域力を活用し、事業実施の効果を文化振興のみならず広くまちの活性化につなげるとともに、国際交流を進め国内外への発信を強化するため、文化、国際、経済、観光・交通、報道など幅広い分野の民間団体の参画により実行委員会を組織し、事業を企画・運営しました。

名 称	「東アジア文化都市 2015 新潟市」実行委員会
設立年月日	2014年12月1日
所掌事業	<ul style="list-style-type: none"> ・東アジア文化都市事業の準備、実施及び事後処理 ・他団体が行う事業への協力及び支援 ・その他必要な事項
委員区分	有識者、経済団体、農業団体、観光団体、文化団体・文化施設管理団体、国際交流団体、交通関係、報道機関、行政機関
会 長	篠田昭(新潟市長)
事務局	新潟市文化スポーツ部文化政策課



(実行委員会の規約、委員名簿は資料編に掲載しています。)

実行委員会開催状況

回	期日	議題
第1回実行委員会	2014年12月1日	第1号 規約(案)について 第2号 役員等について 第3号 東アジア文化都市 2015 新潟市の取り組みと予算執行について
第2回実行委員会	2014年12月19日	第1号 平成26年度事業計画(案)について 第2号 平成26年度予算(案)について
第3回実行委員会	2015年3月24日	第1号 監事の選任について 第2号 平成27年度事業計画(案)について 第3号 平成27年度予算(案)について
第4回実行委員会	2015年7月3日	第1号 監事の選任について 第2号 平成26年度事業報告及び決算(案)について 第3号 平成27年度事業計画(案)について
第5回実行委員会	2015年10月26日	第1号 平成27年度事業計画(案)について 第2号 平成27年度補正予算(案)について
第6回実行委員会	2016年3月25日予定	

選定経過とビジョン

文化創造都市 新潟市

新潟市には、世界に誇る食文化や地域に根づいた伝統芸能など、豊かな水と土の暮らし文化が息づいています。また、みなとまちとしての盛んな交流により、おもてなし文化を育み、さまざまな外来の文化を取り入れて、市民一人ひとりが日々、多彩な文化を楽しんでいます。

この「市民力」を生かして、文化芸術の創造性をまちの活力につなげる「文化創造都市 新潟市」の取り組みは全国的にも高い評価を受け、2015年、新潟市は、横浜市に続いて国内2番目の東アジア文化都市に選定されました。

新潟市が2015年「東アジア文化都市」に選定

水と土の暮らし文化、食文化を中心とした多彩な取り組み



文化庁長官表彰(文化芸術創造都市部門)受賞



- 2013年3月受賞
【評価項目】
- ◆食を生かしたまちづくり、食文化の発信
 - ◆水と土の文化創造
 - ◆マンガ・アニメを生かしたまちづくり
 - ◆音楽・舞台芸術による創造活動
 - ◆地域文化施設の活用

東アジア文化都市2015新潟市

- 横浜市に次ぐ、国内2番目の開催地
- ⇒本市の文化創造都市の取り組みを評価

青島市(中国)、清州市(韓国)をはじめとした東アジアとの文化交流を1年を通じ開催

- 2016年は奈良市、2017年は京都市が候補都市

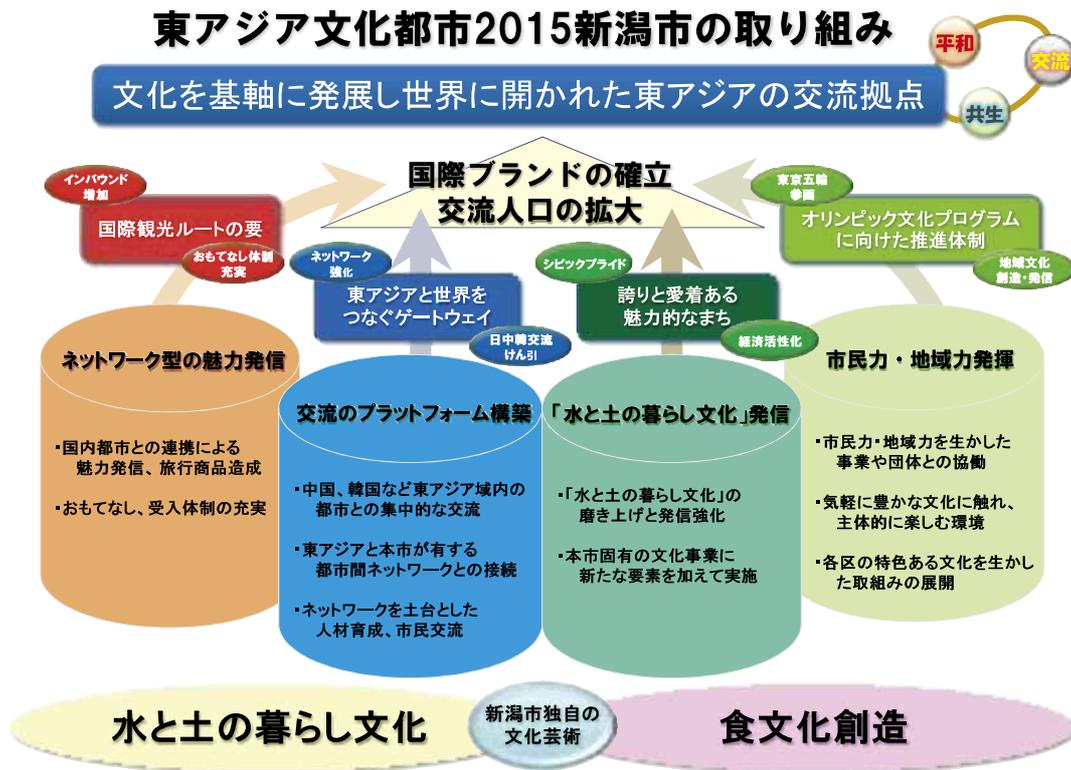
東アジアの
平和・共生の実現

中国・韓国を中心とした
交流人口の拡大

東アジアの文化交流拠点へ

ともに東アジア文化都市に選定された中国・青島市、韓国・清州市と深く連携し、文化を切り口に交流を進めるとともに、中国・韓国の文化芸術の要素を取り入れながら多様なイベントを展開します。

この特別な一年、東アジアの共通性と多様性への理解を深め、東アジアの平和・共生の実現に力を尽くすとともに、「市民力」のウェーブをさらに大きくしながら、新潟市の誇る暮らし文化の魅力に磨きをかけて広く発信し、文化の力で交流人口の拡大を図ります。



新潟市が東アジア文化都市として集中的に事業を実施するのは2015年の1年間のみですが、上図にあるとおり、東アジア文化都市の取り組みの成果によって文化創造都市の推進にさらに弾みをつけていきます。

翌年以降、東京五輪の文化プログラムなど機会をとらえて取り組みを継続・強化し、国際ブランドの確立や交流人口の拡大など、文化の力を着実にまちの基盤強化につなげて飛躍を遂げることで、文化を基軸に発展し世界に開かれた東アジアの交流拠点の形成を図ります。

中国、韓国総領事館の支援

2015年東アジア文化都市の取り組みにあたっては、何平中華人民共和国駐新潟総領事館総領事、趙建熙駐新潟大韓民国総領事館総領事から全面的なご協力をいただき、中国・青島市、韓国・清州市と非常に密度の濃い文化交流を行うことができました。このことにより、東アジアの平和・共生の関係づくりを3都市から推進し、日中韓の関係改善に一定の役割を果たすことができました。



共同記者会見

2月には、新潟市、中華人民共和国駐新潟総領事館、駐新潟大韓民国総領事館の3者で共同記者会見を開催。オープニング期間の皮切りに、中華人民共和国駐新潟総領事館のご尽力で、「新潟春節祭」がいがた食の陣・当日座と同時開催されました。4月の「アート・ミックス・ジャパン」では、東アジア文化都市プレミアムステージを企画し、両領事館のご協力のもと、両国の一流の芸能団による公演が実現しました。6月の「にいがた国際映画祭」では、駐新潟大韓民国総領事館のご尽力により、韓国の俳優を招請しトークショーを開催したほか、12月には、日韓国交正常化50周年「日韓アイドルコンサート」が開催され、友好の絆を深める機会となりました。



新潟春節祭



日韓アイドルコンサート

文化という絆で 心と心の交流を促進する—— 東アジア文化都市 2015 新潟へ

中華人民共和国駐新潟総領事 何平

まず、東アジア文化都市 2015 が無事閉幕を迎えましたことを、衷心よりお祝い申し上げます。この事業が始まって一年の間に、新潟市は中国の青島市、韓国の清州市と連携し、一連の多種多様で内容豊富な文化交流イベントを行いました。新潟総踊り、青島“五つの王者コンテスト”、清州“箏フェスティバル”などは実にすばらしいイベントでありました。3都市の市民たちは、新潟の水と土の文化、青島の海洋文化と清州の生態文化を十分に理解し、たくさんの文化の饗宴を楽しむことができました。



文化は人と人の感情の架け橋であり、国と国の理解や信頼を深める絆であり、都市と都市が交流・協力しあう重要な繋がりでもあります。東アジア文化都市事業は、中日韓3か国が共に作り上げた地域間文化交流のブランドとして、東アジア文化交流を深めていくことや、アジア文化の国際的な影響力の向上に重要な意味を持っています。同時に、東アジア文化都市事業は単なる文化的イベントではなく、各都市が各自の文化的資源とそれぞれの潜在力を以て、多方面、多分野間の交流を行い、経済発展と関係回復に力を注いだと言えます。

今回の事業の成功は、確実に3都市間の友情を深め、3か国間の相互理解を促進し、東アジア地域の平和、共生、共同発展の関係を作り上げることに大きく貢献しました。今後も3都市が引き続き交流を深め、今度の関連イベントで得た貴重な経験と成果を伝承し、東アジア文化都市事業の国際化、継続を推進することで、東アジア文化が世界に広まっていくことを望んでいます！

「東アジア文化都市の事業報告書」の 発刊に寄せて

駐新潟大韓民国総領事 趙建熙

東アジア文化都市の事業報告書の発刊を心よりお祝い申し上げます。この事業報告書の発刊にご尽力いただいた関係者皆様のご労苦に深くお礼申し上げます。



2015年は、韓・日国交正常化50周年であり、また新潟市が韓国の清州市と中国の青島市とともに「東アジア文化都市」に選定された意味深い年でありました。それだけに、様々な行事が新潟市の至るところで行われ、3カ国の文化都市の友好や親善をさらに深くする契機になりました。私自身も東アジア文化都市の立派な行事を見ながら文化芸術都市、国際都市としての魅力に加えて新潟の偉大な底力を感じることができました。

ですが、そのような意義深い行事や催しがただ一過性のイベントで終わってはなりません。今年、韓国の済州特別自治道・日本の奈良市・中国の寧波市が「東アジア文化都市 2016」としてその活動を開始しますが、去年の東アジア文化都市間の交流の意味や精神が正しく受け継がれるようにするのが肝要です。そのため、その間立派な経験がよく整理された事業報告書の発刊は後の世代に文化交流の重要性を教える資料として価値もあるし、現在推進中である東アジア文化都市ネットワーク構築のため「東アジア文化都市協議体」設立及び今後の活動にも大いに役に立つことと信じます。

この度東アジア文化都市事業報告書の発刊を契機に今後も東アジア地域の平和と安定のため、文化交流事業がさらに活発に行われることを願います。

「東アジア文化都市 2015 新潟市」事業概要

事業概要

東アジア文化都市の開催を契機に新潟市が東アジアの平和・共生・交流のセンターになることを目指し、中国・韓国との文化・芸術交流事業のほか、新潟市の独自文化の発信に関連した各種イベントを中国・韓国の文化を取り入れながら 2015 年 1 月から 1 年間展開していきます。

この期間中の様々な交流を通じ、東アジア域内の相互理解・連帯感の形成を促進するとともに東アジアの多様な文化の国際発信力の強化を図っていくほか、この事業実施を契機として新潟市が文化芸術・クリエイティブ産業・観光の分野において継続的に発展することも目指します。

開催期間

2015 年 1 月～ 12 月（うち中核期間 7 月～ 9 月）

来場者目標

76 万人

事業区分

○主要事業

東アジア文化都市 2015 新潟市の主要な取り組みとして、「東アジア文化都市 2015 新潟市」実行委員会の主催・共催により実施するもの。

○関連事業

「東アジア文化都市 2015 新潟市」実行委員会構成団体が行う期間内の文化芸術・国際交流イベントで、東アジア文化都市事業として一体的な広報宣伝を行うもの。

○フレンドシップ事業

「東アジア文化都市 2015 新潟市」実施期間内に行われる市民企画・運営の文化芸術・国際交流イベントで、東アジア文化都市の趣旨に合致するもの。

主要事業は、<文化芸術イベント>と東アジア文化都市 3 都市間の<文化交流事業>に区分されます。

本書では、以下のマークで区分を表します。

イ…文化芸術イベント

交…文化交流事業

主要実績

文化イベント事業数・来場者数

主要事業 25 事業 123 万人

関連事業等を含む総数 295 事業 357 万人

○内訳

主要事業 25 事業 123 万人

関連事業 120 事業 241 万人

フレンドシップ事業 150 事業 17 万人

※事業間での重複があるため、各事業の人数の和と総数は一致しません。

参加アーティスト数

23,000 人以上

うち市民アーティスト 18,000 人以上、海外アーティスト 700 人以上

日中韓文化交流事業数・相互派遣人数

42 事業 718 人

(受入 25、派遣 17) (受入 526、派遣 192)

うち 2015 年東アジア文化都市間交流

27 事業 416 人

(受入 11、派遣 16) (受入 254、派遣 162)

文化交流事業における新潟市からの派遣者は、すべて新潟市内に活動の本拠を置く団体などで構成。
多彩な新潟市文化の魅力を「市民力」により国際発信しました。

青島市の紹介



2015. 东亚文化之都・中国青島
2015年東アジア文化の都・中国青島 2015 동아시아 문화의 도시・중국청도
2015 Culture City of East Asia・Qingdao, China

青島は中国山東半島の南部に位置し、その南東部が黄海を臨み、北西部が中国大陸に繋がり、奇峰嶗山を背に「内海」とも言える膠州湾を取り囲み、海を隔て東に日本、韓国、北朝鮮を臨む、美しくモダンな歴史文化名城です。

青島は山、海、町が入り混じった独特の風貌を有し、海への旅行やレジャーに非常に適しています。

風味豊かな青島ビールは奥深くが計り知れない味わいがあり、青島市民の親切心は町に訪れた人にこの街をより一層の親しく感じさせます。

歴史文化名城でもある青島にはかつて齊と魯の国が存在していました。青島は儒教文化に広く影響されている一方、道教発祥の地でもあるため、道教思想に深く恵まれています。海洋文化、中国と西洋の文化がこの地で交わることにより、青島は「音楽の島」、「映画都市」「ヨット都市」として成長しています。

また、青島は活力あふれる町で、ハイアール、ハイセンス、青島ビールなどブランド企業の揺籃となり、中国重要な経済中心都市としてその役割を担っています。

親愛なるご友人の皆さま方、こんにちは。2015年の東アジア文化都市・新潟市シリーズイベントは円満に終了いたしました。青島市人民政府と青島の全市民を代表し、皆さまに心よりお祝い申し上げます。

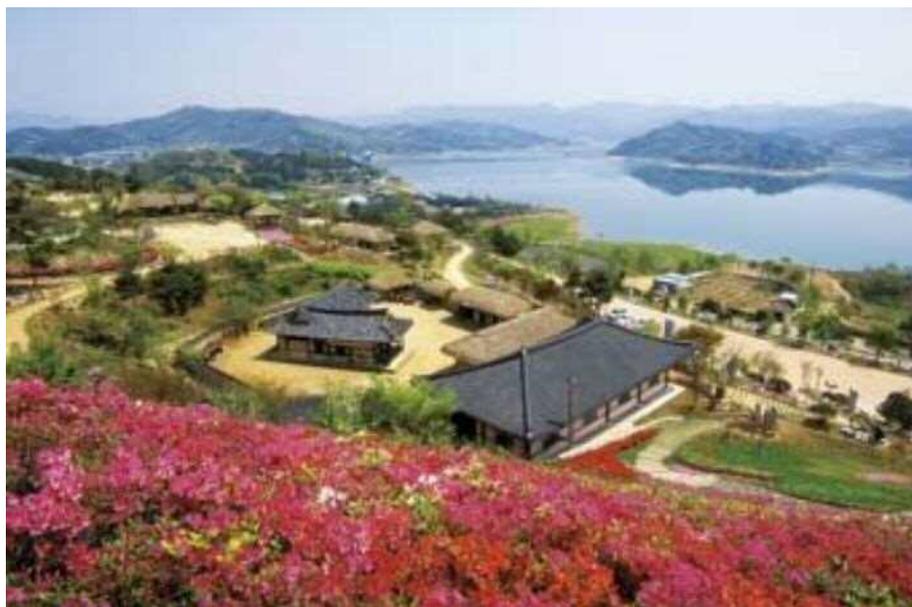
2015年「東アジア文化都市」事業が始まって以来、青島市と新潟市、清州市はともに手を携え、積極的に行動し、心を尽くして計画をめぐらせ、あらゆる形態、スタイル、内容の文化交流活動を展開しました。我々が新潟の「水と土の暮らし文化」を感じ取り、清州の人々の心を揺さぶった「生命の大合唱」を聴くことにより、多彩な文化が融合し、心と心との距離が近づき、協力に向けた信念がより深まりました。これこそが「東アジア文化都市」の魅力と真髄でしょう。

日本、韓国のご友人の皆さま、ぜひ青島へお越しください。「東アジア文化都市」としての荣誉、その素晴らしさと楽しさを心に刻みましょう！



青島市 張新起市長

清州市の紹介



동아시아 문화도시
2015 청주
Culture city of
East Asia

韓国の中心に位置する清州市は歴史と文化の都市であり、教育と生命の都市です。現存する世界最古の金属活字本「直指(チクチ)」をはじめ、数多くの歴史的資源を有しており、展示・公演・市民芸術などの文化イベントが年間を通して行われています。

清州市内だけで8つの大学、大小150余りの図書館を保有するなど教育に注力しており、並木道や大清湖などの生態系や農耕文化、自然環境の美しさを誇っています。

また、清州市は文化産業に特化した都市でもあります。先端文化産業団地、五松(オソン)バイオ団地などではIT、CT、BTなどの最先端技術と文化が融合したコンテンツ開発が盛んであり、ユッコリ市場などの伝統的な市場とソンアンギルなどの近代的なショッピングゾーンが市民生活にうまく溶け込んでいます。

清州国際空港、KTX 五松駅、高速道路など四方に張り巡らされた交通網と広大な土地の恩恵のもと、87万人の市民が夢を抱いて世界へ、そして未来へと走っています。

2015年は、清州、新瀉、青島の3つの東アジア文化都市にとって、感動的かつ貴重な出来事が多い一年となりました。

3都市の児童、青少年、市民サークル、文化芸術家が一つになって踊ったり歌ったりし、今後進むべき方向について一緒に検討したりもしました。また、都市の素晴らしい風景や美味しい食べ物を満喫し、市民の優しさや夢と情熱に触れて感動しました。

日中韓の3カ国は、言語・生活様式・文化が違っても東アジアは一つだという揺るぎない事実を確認しました。これらすべての感動的な出来事は、東アジアの共同繁栄はもちろん清州、新瀉、青島の3都市が手を取り合い、より素晴らしい未来へと前進して行くための礎になったと思います。

これまでの文化交流が価値あるものとして実を結ぶために尽力されてきた新潟市長に感謝いたします。共にご協力くださった新潟市民の皆様のご苦勞も決して忘れません。私たちの友情が今後さらに輝きを増すよう清州市も積極的に協力していくつもりです。ありがとうございました。



清州市 李承勳市長

2015年東アジア文化都市 共同宣言



恵新安中国共産党青島市委員会宣伝部長

篠田昭新潟市長

尹在吉清州市副市長

「2015年東アジア文化都市 共同宣言」は、2015年11月23日、新潟市のクロージングイベントにおいて、2015年東アジア文化都市3都市の代表が署名した成果文書です。

文化・芸術分野において2016年以後も継続的に交流と友好を促進するとともに、東アジア文化都市ネットワークの構築を視野に3都市が協力連携して取り組むことを宣言しました。

共同宣言の全文は、資料編に掲載しています。

